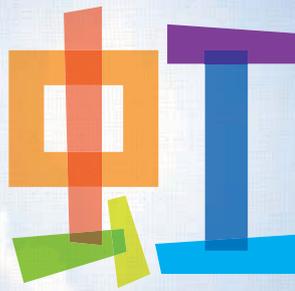


co-op

三重の生協の
今を伝える

みえの



No.123

2020年1月

三重県生活協同組合連合会

〒514-0009 三重県津市羽所町379
TEL.059-228-9913 FAX.059-228-9915

誰ひとり取り残さない 社会づくりのために… 2020年も取り組みをすすめます。

三重県生協大会 2019

「核兵器と世界のいま、そして私たちの未来」開催しました。



2019年11月9日(土) 14:30～16:30 アスト津アストホールにて三重県生協連
会員生協の組合員と役職員などの参加で「核兵器と世界のいま、そして私たちの未来」
と「2020年NPTに向けて」をテーマに生協大会(基調講演とパネルディスカッショ
ン)を開催しました。第34回目となる今回は、2020年NPT再検討会議で核兵器廃
絶への道筋や核兵器禁止条約が発効されるよう三重県で生協の連帯を強め平和の取
り組みをひろげていくこと、平和のバトンを次の世代へ託していく機会としました。

基調講演では長崎大学核兵器廃絶研
究センター准教授の中村桂子先生をお

招きし、核兵器をめぐる世界の状況や、核兵器禁止条約、これか
らの課題等についてご講演をいただきました。

パネルディスカッション「2020年NPTに向けて」では、中村
先生にコーディネートをお願いし、2010年と2015年にNPT
再検討会議生協代表団として参加したコープみえ組合員と職
員、2010年NPT再検討会議原水協代表団として参加したみえ
医療福祉生協職員、三重大学人文学部の学生、二人の子どもを
NPTへ派遣されたコープみえ組合員をパネリストに、NPTに



参加して現地で感じた
ことや、2020年NPTに
向けて私たちにできる
こと、そして平和の継承
について、その想いを意
見交換しました。

ロビーでは会員生協及び三重県生協連
の平和活動委員会、食と健康の委員会、
消費者市民ネットワーク
みえの活動が紹介されま
した。また、ヒバクシャ
国際署名と、被爆者活動
支援募金への協力が呼び
かけられました。



一人は万人のために 万人は一人のために

生活協同組合
コープみえ

みえ医療福祉
生活協同組合

三重県学校
生活協同組合

三重大学
生活協同組合

三重短期大学
生活協同組合

三重県立看護大学
生活協同組合

三重県労働者共済
生活協同組合

牛乳パックでつくる第五福竜丸・伊勢と第五福竜丸を開催しました。

親子で！みんなで！
楽しく！平和をつくる！



2019年8月22日(木)、伊勢市にあるゴーリキマリンビレッジにて(株)ゴーリキと、公益財団法人第五福竜丸平和協会、生活協同組合コープみえ、三重県生協連平和活動委員会の共催で、第五福竜丸と伊勢との関わりを知っていただくことと、原水爆による惨事が再び起こることのないよう核兵器の廃絶に向け、これからの世代へ継承していくことを目的に、「第五福竜丸のお話し」と絵本作家二見正直氏の「わしのだいじな船第五福竜丸」の紙芝居と、「牛乳パックで第五福竜丸をつくろう」を開催しました。

コープみえ商品くらしの活動交流会に、ブース出展とヒバクシャ国際署名活動をしました

平和をともに考えましょう！

2019年9月26日(木)、メッセウイング津にて開催された、コープみえ主催“商品・くらしの活動交流会”に平和活動委員会が出展しました。来場者が約680人ということで大変にぎわい、大勢の方に立ち寄っていただき、平和クイズに挑戦や、ヒバクシャ国際署名へ参加していただきました。その他、三重県の戦跡パネル展示、牛乳パックで作った第五福竜丸の展示などもおこないました。



支援活動

3.11を忘れない

一まち・住まい・コミュニティ

被災地のいま
みやぎ生協・コープふくしまから
宮城・福島のいまをお伝えします

第76回 2019年12月5日

復活した閑上の魅力を発信していきたい 宮城県名取市／かわまちてらす閑上

名取市内でも津波被害の大きかった閑上(ゆりあげ)地区に、2019年4月、観光と交流の商業施設「かわまちてらす閑上」(以下、かわまちてらす)がオープンしました。名取川の堤防沿いにレストランやカフェ、海産物店などが建ち並び、食はもちろん散歩やツーリングなどアクティビティも楽しめる人気スポットとなっています。

また周辺では宅地開発が進み、地元の人たちの新たな交流拠点としても注目されています。

(株)かわまちてらす閑上の菊地祥弘さんは、「名取川堤防沿いのエリアは元々商店街があったところ。地元の人たちにとっては昔から身近な場所だった」と言います。

震災で大きく傷ついた閑上ですが、地元の事業者たちは「閑上にもう一度かつての賑わいを取り戻したい」と立ち上がり、名取川の景観を活かしてかわまちてらすをつくりました。

かわまちてらすをきっかけにまちづくりが前進すれば、定住者の増加につながるの期待もあります。

「ここは閑上の復活の象徴。地域の期待の大きさをひしひしと感じている」と

菊地さん。この夏、広場をステージにして開催したカラオケ大会には大勢の地元住民が参加し、その場で次の開催を待つ声があがるほど盛り上がったそうです。

オープンから約6ヶ月。かわまちてらすは平日にも関わらず、食事や買い物を楽しんだり、堤防沿いを散策したりする大勢の人で賑わっています。「土日の来客はさらに多い。芋煮やイルミネーション、お花見など様々なイベントを実施し、賑わいを継続していきたい」。

かわまちてらすはロケーションの良さでも人を惹きつけています。「この風景、素晴らしいでしょ」と菊地さんの指さす方を見れば、海と空に向かってゆったりと流れる名取川が目に入ります。風景を楽しみながら食事や買い物ができ、仙台の都心部からも近く気軽に足を運ぶことができます。

「震災を乗り越えて復活した閑上を見にきてほしい。そのためにこれからも閑上の魅力をかわまちてらすから発信していきたい」。

歩みは始まったばかり。閑上の賑わいがずっと続くよう、菊地さんたちは様々なもてなしのアイデアを練り出しながら、お客さまを迎えています。



▲(株)かわまちてらす閑上の菊地祥弘(よしひろ)さん。「来客数の増加をかわまちてらす各テナントの経営安定につなげていくことが今後の課題」と話します。



▲かわまちてらす閑上。閑上の海と松からイメージしたダークグリーンの建物に地元や市外・県外から出店した26のテナントが入っています。

◎かわまちてらす閑上
<https://kawamachi-terasu.jp/>

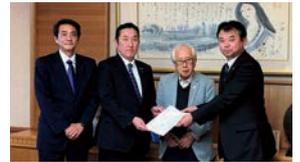
三重県議会の会派と懇談をすすめました。

三重県生協連と会員生協の事業・活動への理解と、社会的課題への要望を三重県議会に伝え、三重県政に反映していただけるよう、県議会派との懇談をおこないました。

2019年9月から12月にかけて新政みえと、自由民主党県議団、草莽(そうもう)、12月4日は三重県議会正副議長と懇談をしました。主に消費税増税の中止や、豚コレラの感染拡大防止、養豚農家に対する総合的な支援、SDGsの積極的な推進などの要望について意見交流をしました。議員からは、豚コレラへのワクチン接種や、今後も懇談の機会を継続していきたい旨の要望をいただきました。今後も引き続き意見交流の場を検討していきます。



▼三重県議会正副議長へ要望書を提出しました



三重大学で「協同組合論」を開講しています。

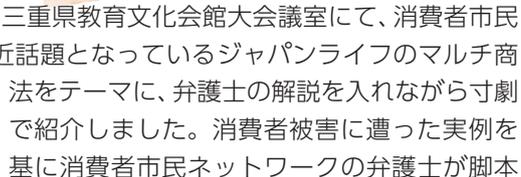
今年4年目を迎えた三重大学人文学部特殊講義「協同組合論」が始まりました。次世代を担う学生のみなさんに、社会・地域と人のつながりをはじめとした協同組合への理解をひろげることなどを目的に開講しています。公開講座として2020年1月16日にはシンポジウム「安心してらせる地域づくりと生協～組合員と地域住民とともに～」、1月23日には日本生活協同組合連合会代表理事会長の本田 英一氏をお招きし、「生協運動の現在と未来」をテーマに、ご講義をいただきました。



消費者市民ネットワークみえ 消費者被害防止啓発セミナー

転ばぬ先の杖劇団 初演「私、間違えませんか」を開催しました。

2019年12月14日(土)、三重県教育文化会館大会議室にて、消費者市民ネットワークみえ主催で最近話題となっているジャパンライフのマルチ商法をテーマに、弁護士の解説を入れながら寸劇で紹介しました。消費者被害に遭った実例を基に消費者市民ネットワークの弁護士が脚本を考え、世話人が役者となり楽しく寸劇で学習する機会としました。内容が良かったので色々なところで活動してほしいというご要望をいただきました。



会員生協の役職員に向けて学習会、研修会を開催しました。

「2030SDGs～ゲームで学ぶSDGs～」体験学習会をしました。

2019年10月19日、福井県民生活協同組合組織ネットワーク支援部課長の高井健史氏をファシリテーターにお迎えし、SDGsをカードで体験しながら経済、社会、環境のバランスなど大切なことを楽しく学びました。「みんなと協力し合って全体的な発展を目指す重要性を体感で感じた学習会でした」などの感想をいただきました。



「監事監査の基本と監査のポイント」研修会を開催しました。

10月30日(水)「監事監査の基本と監査のポイント」研修会を日本生協連総合マネジメント本部の宮部法務部長をお招きし開催しました。生協法に規定されている監事の職務及び権限などについて理解し、監事監査の目的と監事監査の基本事項、監事監査の全体像を学ぶことができました。「分かりやすく、よかった」、「監事業務のこと、たいへんさが分かった」、「会計監査のことが、よくわかった」などの感想をいただきました。





みえ医療福祉生活協同組合のSDGs

すべての人に適切な医療を受ける機会を～無料低額診療事業～

医療費の支払いが不安で受診できない、病院はお金がかかるから我慢しよう。いま、そのような方が増えています。経済的な理由で必要な医療を受ける機会を制限されることがないように、生活が改善するまでの一定期間、無料または低額で診療する「無料低額診療事業」を、津生協病院と津生協病院附属診療所の2ヶ所で実施しています。

例えば、病気やケガ、失業などで収入が減ったり、なくなってお困りの方、国保短期保険証や資格証明書が発行されている方などは、まずはお気軽にご相談ください。なお、就学援助を受けている世帯の子どもは証明書があれば適用します。

これからも、日本社会に広がる貧困や格差、困難に心を寄せ、一人ひとりの大切な命に正面から向き合い活動していきます。

＜お問い合わせ＞津生協病院 医療福祉相談室 TEL. 059-225-2848 (代表)



三重県生活協同組合連合会 上野会長理事 (連載)

新年を迎えて

今回、私は、核兵器と世界のいまについて、未来を見据える私の思いを述べてみたい。わたしたちの未来には何があるのでしょうか。そこには自転を繰り返す緑の惑星がわれらの未来人を乗せてきた誇らしい姿を見ることができのでしょうか。かつての地球の表面に人類が残してきたおおきな課題、温暖化、大量ゴミ、そして何といたってもミサイルに搭載された核兵器は未来人にとって迷惑で邪魔なお荷物でした。しかし、人類は、その持っている言葉と文化という英知によってその多くの課題を解決してきたといえるのでしょうか。

これは夢でしょうか。これは決して夢ではなく、人類には優れた知性があります。現実を直視できない人にはその希望が見えないだけです。

新しい年を迎えるいまを私たちが試される希望への第一歩にしたいと思います。そのためにまず身近なプランを安全、安心なまちづくりに寄与していくことが必要になります。私たちが所属している生協のもてる力を最大限に発揮することでしょう。

「生協の使命」は、組合員の生命、財産、尊厳などを護るための道筋を作成することにあります。私は、生協に関わるすべての人々が地域の伝道者として、また相談役として、話し相手になり、良好な関係を築いていくことが必要になると思います。

このようなことを自覚し、足りない部分を連携によって乗り越えたとき、人類の輝かしい栄光の年と後世から賛美されると思います。

これからの生協の力に期待し、皆さんとともに歩みを協同したいと思います。

わたしたち生協連は、おたがいにたりない部分を補填し、他の組織と連携のための決意をあらたにしております。



おしらせ

「さようなら原発三重パレード&マルシェ」に賛同団体として参加します。

- 日時：2020年3月7日(土) 10:00～16:15
- 場所：三重県総合文化センター
- ・中庭/マルシェ(10:00～15:00)、トークライブ(12:30～13:30)
- ・中ホール/講演「福島事故の検証を行う中で」(11:00～12:30)
芦浜ドキュメンタリー映画「原発夫婦」(13:30～15:10)
- ・中庭～三重県総合文化センター周辺/パレード(15:15～16:15)

▶ 2019年のパレードの様子



一緒に参加しませんか。

ママのための備災講座「防災ママカフェ@CO・OP」を開催します。

ママ必見

- 日時：2020年3月14日(土) 10:30～12:00
- 場所：四日市市文化会館 第3ホール(三重県四日市市安島2丁目5-3)
- 募集人員：120名(子ども同伴可、託児なし)
- 講師：かもん まゆ氏(一般社団法人 スマートサプライビジョン特別講師)
- 主催：三重県生活協同組合連合会、三重労働者共済生活協同組合、生活協同組合コープみえ
- 参加費：無料
- 内容：大震災で乳幼児ママが直面した「実際はこうだった！」リアルな体験談から学んで備えるワークショップ

